NTT docomo

optimus bright
L-07C

クイックスタートガイド　’11.05

はじめに

L-07Cをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

- L-07Cは、W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル･地下･建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている場合で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の送信内容と異なって受信される場合があります。
- 本FOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。また、本FOMA端末から取扱説明書の最新情報を見ることができます。

■「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード

http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

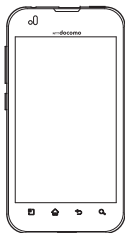
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

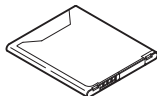
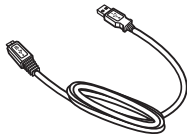
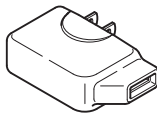
■「取扱説明書（eトリセツ）」閲覧

ホーム画面で「アプリ」▶「取扱説明書」をタップしてください。

本体付属品および主なオプション品

本体付属品

L-07C本体
（保証書、リアカバー L24を含む）

クイックスタートガイド（本書）

電池パック L14
（取扱説明書付き）

USB接続ケーブル L01
（取扱説明書付き）

ACアダプタ L02
（保証書、取扱説明書付き）

リアカバー（試供品）※
（取扱説明書付き）

microSDHCカード（4GB）（試供品）
（取扱説明書付き）

※ 本体色と異なる2色（本体色Blackの場合はMagenta、Blue、本体色Whiteの場合はLight Blue、Light Pink）が同梱されています。

本書のご使用にあたって

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の本文中においては「L-07C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- FOMAカード（青色・緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載しているドコモUIMカードはFOMAカードと読み替えてください。

操作説明文について

本書では、タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表記	操作内容
ホーム画面で「アプリ」	ホーム画面に表示されている をタップする
ホーム画面で ▶「設定」	ホーム画面に表示されている をタップして、表示された画面の をタップする
「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」	画面に表示されている「無線とネットワーク」をタップして、続けて「モバイルネットワーク」をタップする
を１秒以上タッチする	画面に表示されている を長めに（1 ～ 2秒間）触れたままにする

お知らせ

- 本書の操作説明は、ホームセレクタが「ホーム」に設定されていて、ホーム画面の内容が初期設定の場合で説明しています。ホーム画面の内容を変更した場合は、アプリケーションを開く操作などが本書の説明と異なることがあります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面と異なる場合があります。

目次

L-07Cのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末はｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本FOMA端末は、データの同期やソフトウェア更新を行うための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。

  ホーム画面で ▶「設定」▶「端末情報」▶「端末の状態」をタップしてください。
- ご利用のFOMA端末のソフトウェアバージョンは以下の手順で確認できます。

  ホーム画面で ▶「設定」▶「端末情報」をタップしてください。
- 本FOMA端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。詳しくは「ソフトウェア更新」（P82）をご参照ください。
- FOMA端末の品質改善を行うため、ソフトウェア更新によってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 紛失に備え、画面ロックまたはパスワードを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。詳しくは「暗証番号とドコモUIM カードの保護について」（P54）をご参照ください。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク、Gmail、Androidマーケットなどの Googleサービスなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- 本FOMA端末は64Kデータ通信には対応しておりません。
- 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは「ファイル管理」（P70）、もしくは「外部機器接続」（P73）をご参照ください。

  また、各種オンラインによるデータバックアップサービスのご利用をおすすめします。
- ご利用の料金プランにより、ポータブルWi-Fiアクセスポイントご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスでのご利用を強く推奨します。

- ポータブルWi-Fiアクセスポイントのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- ポータブルWi-Fiアクセスポイントの初期設定では、外部機器と携帯電話間のセキュリティは設定されていません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	説明
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

絵表示	説明
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の7項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子（microUSB接続端子、イヤホンマイク端子）に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらアプリケーションなどを長時間使用すると、FOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

スピーカーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部の表面には、裏面に飛散防止のテーピング加工を施した強化ガラス、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

- 各箇所の材質について→材質一覧（P16）

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源､電圧で使用してください｡また､海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

- ACアダプタ：AC100V
- DCアダプタ:DC12V･24V（マイナスアース車専用）
- 海外で使用可能なACアダプタ：AC100V ～ 240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠ 警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		使用材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ	Corning® Gorilla® Glass	－
	フロントカバー	PC＋GF樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
	リアカバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
	電池カバー	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
電源キー		PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
音量キー／Gキー		PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
カメラ部		PMMAシート(MR200)	－
フラッシュ部		PC樹脂	－
カメラ装飾部		AL	酸化処理
イヤホンマイク端子装飾部		PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
microUSB接続端子カバー		PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装処理
電池収納面		Diecasing(マグネシウム)	ウレタン塗装処理
充電端子コネクタ(本体電池収納部)		リン青銅	金メッキ処理
スピーカーグリル		ステンレス鋼	－
ネジ		軟鋼	ZnBメッキ処理
電池パック	電池パック本体	ポリ塩化ビフェニル＋銅＋ニッケル＋金	－
	シール部	銀PET	黒つや消し印刷
	端子部	金メッキ処理	－
microSDカード取り付け部	ガイド	ステンレス鋼	－
	固定部	熱可塑性物質	－
	金属端子部	リン青銅	金メッキ処理
UIMカード取り付け部	ガイド	ステンレス鋼	－
	固定部	熱可塑性物質	－
	金属端子部	銅合金	ニッケル下地金メッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**
FOMA端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子（microUSB接続端子、イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

■ **タッチスクリーンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
タッチスクリーンが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **microUSB接続端子やイヤホンマイク端子を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **通常はmicroUSB接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■ **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ **電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ **充電は､適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。**

■ **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■ **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■ **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は､目安として残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■ **充電は､適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ **ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**

■ **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■ お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について

FOMA端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の銘版シールに記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF	：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1	：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■■	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

注意

■ **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

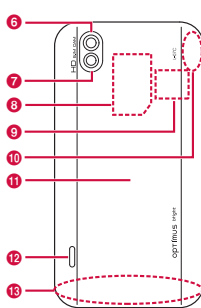
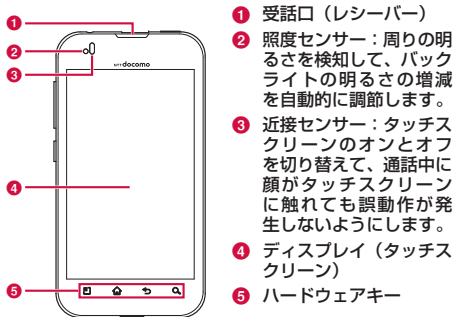
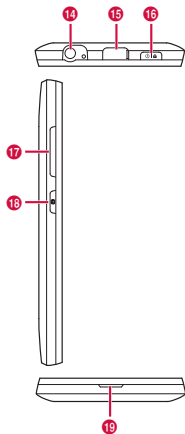
■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

各部の名称

1. 受話口（レシーバー）
2. 照度センサー：周りの明るさを検知して、バックライトの明るさの増減を自動的に調節します。
3. 近接センサー：タッチスクリーンのオンとオフを切り替えて、通話中に顔がタッチスクリーンに触れても誤動作が発生しないようにします。
4. ディスプレイ（タッチスクリーン）
5. ハードウェアキー

6. カメラ
7. フラッシュ
8. ドコモUIMカードスロット（本体内部）
9. microSDカードスロット（本体内部）
10. GPSアンテナ部※
11. リアカバー
12. スピーカー
13. FOMAアンテナ部※

※ アンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通信をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

⑭ イヤホンマイク端子
⑮ microUSB接続端子
⑯ 電源キー／画面ロックキー
⑰ 音量キー
⑱ Gキー：モーションジェスチャーを使用するときに使います。
⑲ マイク

お知らせ

- 各センサー部分にシールなどを貼らないでください。

ハードウェアキーについて

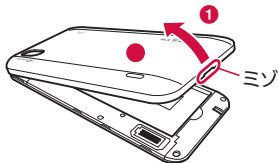
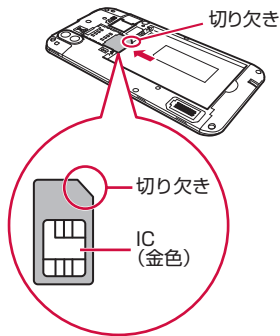
本FOMA端末前面には、ハードウェアキーが4つ配置されています。それぞれのハードウェアキーの役割は以下の通りです。

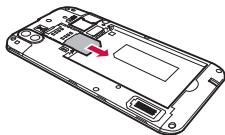
	このキーをタップすると、現在の画面またはアプリケーションで実行できるオプションメニューが表示されます。
	• このキーをタップすると、どのアプリケーションを使用中でも、どの画面が表示されていてもホーム画面が表示されます。 • このキーを1秒以上タッチすると、最近利用したアプリケーションのアイコンが表示されます。アイコンをタップすると、アプリケーションを開くことができます。
	このキーをタップすると、直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネル、ソフトウェアキーボードを非表示にします。
	• ホーム画面でこのキーをタップすると、FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを検索できます。詳しくは「検索する」（P43）をご参照ください。 • アプリケーションを開いているときにこのキーをタップすると、アプリケーションの検索機能を利用できます。

ドコモUIMカード

ドコモUIMカードとは、お客様の情報が記録されているICカードです。

ドコモUIMカードを取り付ける

1 リアカバーのミゾに爪を入れ、●を軽く押さえながら矢印（❶）の方向へ持ち上げてリアカバーを取り外す

2 電池パックを取り出して（P29）、ドコモUIMカードの金色のIC面を下に向けてスロットに差し込む

ドコモUIMカードを取り外す

1 リアカバーを外し、電池パックを取り出してドコモUIMカードを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

microSDカード

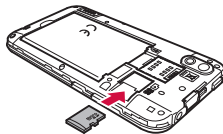
microSDカードは、互換性のある他の機器でも使用できます。

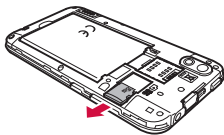
- 本FOMA端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年5月現在）。
  対応のmicroSDカードは各microSDメーカへお問い合わせください。

microSDカードを取り付ける

1 リアカバーを取り外す（P26）

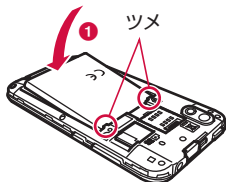
2 microSDカードの金属端子面を下に向けてスロットに差し込む

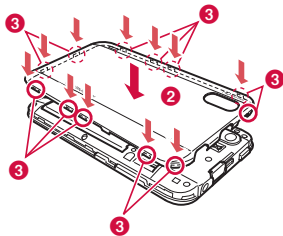
- microSDカードは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードやスロットの破損、または抜き取れなくなる恐れがあります。

microSDカードを取り外す

1 リアカバーを外し、microSDカードを取り出す

電池パック

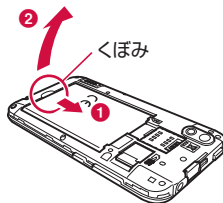
電池パックを取り付ける

1 リアカバーを取り外す (P26)

2 電池パックは、CEマークがある面を上にしてFOMA端末と電池パックのツメを合わせるように矢印（❶）の方向へ挿入する

3 **リアカバーの向きを確認して、本体に合わせるように装着し（❷）、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる（❸）**

- 矢印部分をしっかりと押し、FOMA端末とすきまがないことを確認してください。

電池パックを取り外す

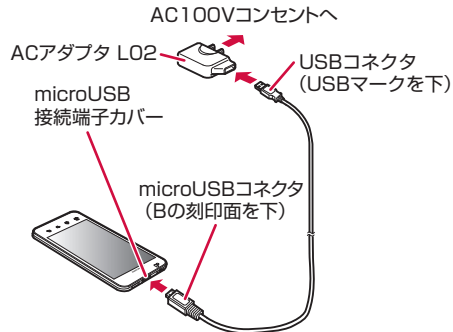
1 **リアカバーを取り外す（P26）**

2 **FOMA端末のくぼみに爪を入れ電池パックを矢印（❶）の方向に押しながら矢印（❷）の方向に持ち上げて取り外す**

お知らせ

- 電池パックの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

充電

ACアダプタで充電する

付属のACアダプタ L02を使って充電する方法を説明します。

1 付属のUSB接続ケーブル L01のUSBコネクタをACアダプタ L02のUSB接続端子に差し込む

2 FOMA端末のmicroUSB接続端子カバーを開く

3 USB接続ケーブル L01のmicroUSBコネクタをFOMA端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- USB接続ケーブル L01は、「B」の刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。

4 ACアダプタ L02のプラグを電源コンセントに差し込む

- 充電中は、ステータスバーの電池アイコンが のように表示されるか、▶▶▶▶のようにアニメーション表示されます。
- 電池パックがフル充電状態になると、ステータスバーの電池アイコンが になります。

5 充電が終わったら、microUSBコネクタをFOMA端末から取り外し、microUSB接続端子カバーを閉じる

6 ACアダプタ L02のUSB接続端子からUSB接続ケーブル L01のUSBコネクタを取り外す

7 ACアダプタ L02のプラグを電源コンセントから取り外す

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源キーを1秒以上押し続ける

2 下端を上方向にドラッグする

電源を切る

1 電源キーを1秒以上押し続ける

2 「電源を切る」

3 「OK」

バックライトを点灯する

FOMA端末では、誤動作の防止と省電力のため、一定時間が経過すると、バックライトが消灯されます。その状態でバックライトを点灯にしてキーロックを解除すると、バックライトが消灯される前の画面が表示されます。

1 電源キーを押す

- キーロック画面が表示されます。なお、バックライトが消灯の状態でも、着信時やアラーム鳴動時など自動的に点灯されることがあります。

お知らせ

- バックライト点灯中に電源キーを押すと、画面がロックします。

タッチスクリーンの操作

本FOMA端末は、ディスプレイにタッチスクリーンを採用しており、スクリーンに触れることでさまざまな操作が行えます。

タッチスクリーン利用上の注意

タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり､先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
以下の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となります。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作

タッチスクリーンの操作

タッチスクリーンでは以下の操作ができます。

- タップ：画面に軽く触れる
- ダブルタップ：画面に2度続けて軽く触れる
- タッチ：画面に長く触れる
- スワイプ：画面を軽くなぞる
- ドラッグ：画面をタッチしたままなぞって指を離す
- ピンチアウト：2本の指で画面をタッチし、タッチしたまま指の間を広げる
- ピンチイン：2本の指を開いて画面をタッチし、タッチしたままつまむように指を近づける

項目を開く

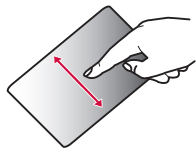
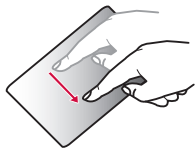
1 項目をタップする

チェックマークを付ける／外す

1 チェックボックスがある項目をタップする

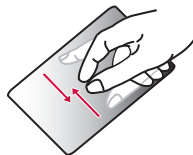
- チェックマークが付いていない場合、チェックマークが付きます。
- チェックマークが付いている場合、チェックマークが外れます。

画面をスクロールする

画面を上下にスクロールできます。一部のウェブページでは、左右にスクロールすることも可能です。

ドラッグすると画面がスクロールします。

スワイプすると画面が高速でスクロールします。スクロール中にタッチすると、スクロールが停止します。

表示を拡大／縮小する

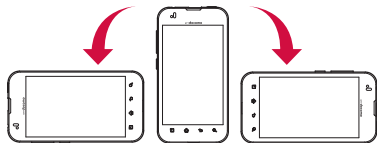
使用するアプリケーションによっては、画面の文字が小さくて見にくいとき、表示を拡大することができます。また、拡大した状態から全体表示とするため縮小することもできます。

ピンチアウトすると指の動きに合わせて画面が拡大表示されます。

- ピンチインすると指の動きに合わせて画面が縮小表示されます。
- ホーム画面でピンチインするとホーム画面の画面数を設定できます。

お知らせ

- 画面をドラッグすると ⊖ ⊕ が表示される場合があります。このズームコントロールアイコンをタップすることで画面表示の拡大／縮小をすることもできます。

画面の表示方向を変更する

本FOMA端末を横向き／縦向きにすると、自動的に横画面表示／縦画面表示に切り替わります。

お知らせ

- 表示方向が自動的に切り替わらないアプリケーションもあります。
- ホーム画面で ▶「設定」▶「表示」をタップし、「表示設定」画面で「縦横表示の自動回転」のチェックマークを外すと、本FOMA端末を横向き／縦向きにしても画面の表示方向が切り替わらないようにすることができます。

初期設定

初めて電源を入れたときの設定

本FOMA端末の電源を初めて入れたときは、FOMA端末で使用する言語や日時の設定が必要です。一度設定を行うと、次回以降、設定する必要はありません。また、ここでの設定は、後から変更できます。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なります。
- 「スキップ」をタップすると該当の設定を省略できます。

1. **電源キーを1秒以上押し続ける**
2. **「続ける」**
3. **言語を選択する**
4. **日付の設定をして、「次へ」**
5. **Wi-Fiが使用できないときにモバイルネットワークを使用するかの設定をする**
6. **Wi-Fiの設定をして、「次へ」**
   - 詳しくは「Wi-Fiを設定する」（P35）をご参照ください。

7 Googleアカウントの設定で、「次へ」

- 画面の指示に従ってログイン情報などを入力してください。
- 文字入力方法について、詳しくは「文字入力」（P52）をご参照ください。

8 「OK」

Wi-Fiを設定する

本FOMA端末は、Wi-Fiネットワークや公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続してインターネットなどを利用できます。
接続するには、アクセスポイントの接続情報を設定する必要があります。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fiネットワークに接続中は、Wi-Fiネットワークが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- Wi-Fiを使用しないときはOFFにすることで、電池の消費を抑制できます。

Wi-Fiネットワークのステータス

本FOMA端末がWi-Fiネットワークに接続されている場合、ステータスバーに が表示されます。また、ネットワーク検出通知が有効となっている場合、範囲内でセキュリティで保護されていないオープンネットワークが検出されると、常に がステータスバーに表示されます。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」

2 「Wi-Fi」にチェックマークを付ける

3 「Wi-Fi設定」

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

4 接続するWi-Fiネットワーク名をタップする

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続を試みると、そのWi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。「パスワード」ボックスにネットワークのパスワードを入力して「接続」をタップしてください。

固定IPアドレスを指定してWi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

2 ▶「詳細設定」

3 「固定IPアドレスを使用する」にチェックマークを付ける

4 「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS 1」「DNS 2」をそれぞれ順にタップする

セキュリティで保護されていないWi-Fi ネットワークを検出したら通知する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

2 「Wi-Fi」にチェックマークを付ける

3 「ネットワーク検出通知」にチェックマークを付ける

Wi-Fiネットワークを追加する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

2 「Wi-Fiネットワークの追加」

3 「ネットワークSSID」ボックスをタップし、ネットワークSSIDを入力する

4 「セキュリティ」

- 「セキュリティ」メニューが表示されます。「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の4種類から適切なものを選択します。

5 「パスワード」ボックスをタップしてパスワードを入力する

6 「保存」

Wi-Fiネットワークのパスワードを変更する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

2 Wi-Fiネットワーク名を1秒以上タッチする

3 「ネットワーク設定を変更」

- 設定状況が表示されます。「パスワード」ボックスをタップし、新たなパスワードを入力します。

Wi-Fiネットワークから切断する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

2 切断するWi-Fiネットワーク名を1秒以上タッチする

3 「ネットワークの切断」

オンラインサービスアカウントを設定する

Google、Microsoft Exchange ActiveSyncなどのオンラインサービスで使用するアカウントを設定することで、本FOMA端末の情報を更新できます。また、サーバーの情報が更新された場合、自動的に同期するようにも設定できます。
さらに、不要なアカウントは削除することもできます。

オンラインサービスアカウントを追加する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「アカウントと同期」

2 「アカウントを追加」

3 アカウントを設定するオンラインサービスをタップする

- 画面の指示に従ってログイン情報などを入力してください。

オンラインサービスのデータを手動で同期する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「アカウントと同期」

2 同期するアカウントをタップする

3 同期データにチェックマークを付ける

オンラインサービスアカウントを削除する

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「アカウントと同期」

2 削除するアカウントをタップする

3 「アカウントを削除」

4 「アカウントを削除」

画面表示／アイコン

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーにはFOMA端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側に本体のステータスアイコンが表示されます。

- ステータスアイコンおよび通知アイコンについて、詳しくは本FOMA端末の取扱説明書をご参照ください。

主なステータスアイコン

	電波レベル
	圏外
	Bluetooth機能ON
	Bluetoothデバイスに接続中
	電池残量
	充電中
	Wi-Fi接続中
	アラーム設定中

主な通知アイコン

	新着Gmailあり
	新着Emailあり
	新着Googleトークメッセージあり
	カレンダーに設定された予定あり

通知パネル

通知アイコンは通知パネルに表示されます。メッセージ、リマインダー、予定の通知などの通知を通知パネルから直接開くことができます。

通知パネルの見かた

通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルが表示されます。通知パネル上部にはアイコンが表示され、オンの状態では青、オフの状態ではグレーで表示されます。

通知内容の詳細を表示する

1 通知パネルの通知メッセージをタップする

- 最適なアプリケーションが開き、通知内容の詳細が表示されます。

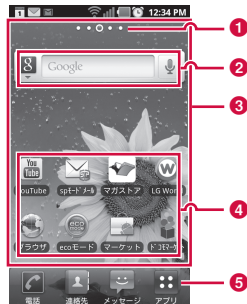
通知パネルの表示を消去する

1 通知パネルの「通知を消去」をタップする

通知パネルを閉じる

1 パネルの下部を上にドラッグまたはスワイプする

ホーム画面

ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加／移動したり、壁紙を変えるなどカスタマイズできます。
ホーム画面には、ショートカットやウィジェットを追加するための画面が左右2画面ずつ用意されています。

❶ **拡張ホームの位置**
現在表示されているホーム画面の位置を表示しています。

❷ **ウィジェット（例：クイック検索ボックス）**
タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリケーション）の起動や操作を行います。

❸ **ユーザーカスタマイズ部**
ホーム画面のカスタマイズ画面で行ったカスタマイズが反映されます。配置したアプリケーションのショートカットやウィジェットを移動したり、削除したりできます。

❹ **ショートカット**
タップして、アプリケーションやFOMA端末の設定項目などを起動します。

❺ ⠿
アプリケーション一覧画面が開きます。アプリケーション一覧画面では、「アプリ」と「ダウンロード」に分かれて表示されます。

ホーム画面を切り替える

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ホームセレクタ」
- ホームセレクタが開きます。

2 変更したいホームアプリケーションをタップする
- ホーム画面が切り替わります。

お知らせ

- お買い上げ時にプリインストールされているホームアプリケーションは､「ホーム」のみです。また､ホームアプリケーションをダウンロードすると、ホーム画面を切り替えることができます。

左または右の画面の領域を表示する

1 ホーム画面を左または右にドラッグする
- 左または右の画面の領域が表示されます。

ホーム画面にウィジェットを追加する

1 ホーム画面を1秒以上タッチする
- 「ウィジェット」タブが表示されます。

ウィジェット	機能
Latitude	現在地表示ツール
YouTube	動画再生ツール
アナログ時計	アナログ時計
アプリケーションマネージャー	アプリケーションの実行状況管理ツール
おみせメモツール	近くのおみせメモツール
カレンダー	カレンダー
ニュースと天気	ニュースと天気予報表示ツール
ホーム画面のヒント	操作のヒント表示ツール
マーケット	Androidマーケット
ミュージック	音楽再生ツール
検索	検索ツール
電源管理	電源管理ツール

2 追加するウィジェットをタップする
- ホーム画面にウィジェットが追加されます。

ホーム画面にショートカットを追加する

1 ホーム画面を１秒以上タッチする

2 「ショートカット」

3 追加するショートカットの種類をタップする

4 追加するショートカットをタップする
- ショートカットによっては追加する項目を設定する必要があります。各画面の指示に従って設定してください。

ホーム画面にフォルダーを作成する

1 ホーム画面を１秒以上タッチする

2 「フォルダー」

3 追加するフォルダーをタップする

フォルダーにショートカットを追加する

1 ホーム画面で、フォルダーに追加するショートカットアイコンを１秒以上タッチする

2 そのままフォルダーにドラッグして指を離す

フォルダーの名前を変更する

1 名前を変更するフォルダーをタップする

2 タイトルバーを１秒以上タッチする

3 フォルダー名を入力して「OK」

ショートカットアイコンを移動する

1 ホーム画面で、移動するショートカットアイコンを１秒以上タッチする

2 そのままドラッグし、移動先で指を離す

壁紙を変更する

1 ホーム画面を1秒以上タッチする

2 「壁紙」

3 「壁紙」または壁紙をタップする

- 「壁紙」▶「ギャラリー」をタップした場合は、壁紙として使用する画像をタップして選択してください。続けて、画面に表示された枠をドラッグすることで壁紙として使用する部分を選択し、「保存」をタップしてください。
- 「壁紙」▶「ライブ壁紙」をタップした場合は、ライブ壁紙の一覧が表示されます。いずれかのライブ壁紙をタップして選択した後、「壁紙に設定」をタップしてください。壁紙の種類によっては、「設定...」をタップすると、ライブ壁紙の設定を行うことができます。

ホーム画面のアイコンを削除する

1 ホーム画面で、ショートカットアイコン、またはウィジェットを1秒以上タッチする

2 そのまま「削除」に移動して指を離す

検索する

「検索」ウィジェットを利用すると、FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを対象として検索できます。
なお、検索データの種類、検索範囲を変更することもできます。

文字を入力して検索する

1 ホーム画面で検索ウィジェットの検索ボックスをタップする

2 検索する文字を入力

3 リストのいずれかをタップする

音声で検索する

1 ホーム画面で検索ウィジェットの をタップする

2 「お話しください」と表示されたら、マイクに向かって検索語をはっきりと発音する

3 リストのいずれかをタップする

検索の設定を行う

1 ホーム画面で検索ウィジェットの検索ボックスをタップする

2 ▶「検索設定」

- 「検索設定」画面が表示されます。

3 必要に応じて設定を変更する

アプリケーション画面

アプリケーション画面には、本FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションのアイコンが表示され、タップすることでアプリケーションを開くことができます。

アプリケーション画面からアプリケーションを開く

1 ホーム画面で「アプリ」

2 アイコンをタップする

- タップしたアイコンのアプリケーションが開きます。

お知らせ

- アプリケーション画面でカテゴリーのタイトルバーをタップすると、カテゴリーに含まれるアイコンが非表示になります。アイコンを非表示にしたカテゴリーのタイトルバーをタップすると、アイコンが再表示されます。

アプリケーション画面のレイアウトを変更する

アプリケーション画面は、カテゴリー、ページ、リストの3種類のレイアウトで表示できます。

1 ホーム画面で「アプリ」

2 ▶「レイアウト」

3 「カテゴリー」/「ページ」/「リスト」のいずれかをタップする

アプリケーション一覧

	BeeTV	BeeTVは、ケータイ専用の放送局です。有料会員登録を行うと、BeeTV内の全番組を視聴できます。
	BookLive!for LG	オンラインの電子書籍サイト「BookLive」にアクセスして電子書籍を購入、閲覧することができます。
	BOOKストア 2Dfacto	本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入、閲覧できる電子書籍ストアです。
	DecoMarket	デコメール®で送受信できる絵文字・ピクチャ・テンプレートなどのデコメール®素材を購入することができます。
	ecoモード	省電力に関する設定ができるアプリケーションです。
	Evernote Launcher	EvernoteはWebサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、様々な情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できるサービスです。情報の保存や閲覧はFOMA端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。 • 本アプリケーションのご利用には、Evernoteアカウントの作成が必要です。
	Gmail	Googleアカウントのメールの送受信ができます。(P64)
	GREE	友達のブログにコメントしたり、自分の趣味のコミュニティーに参加したり、またたくさんの無料ゲームも楽しめます。

	Gガイド番組表	地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。 キーワードやジャンルによる番組検索も可能です。
	ｉチャネル	天気やニュースなど様々な情報を配信します。自動的に受信した最新の情報が待受画面のウィジェット上に表示されます。 ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。
	Latitude	地図上で友だちと位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。また、メールを送ったり、友だちの現在地への経路が検索できます。
	LG World	多様なアプリケーションとドラマおよびバラエティ番組などの動画コンテンツをご利用いただけます。
	Polaris Office	様々な文書フォーマットを簡単に読んだり、編集したりできます。
	spモードメール	ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。（P64）
	Twonky	スマートフォン内やインターネット上の動画・写真・音楽を、DLNA対応のTVやオーディオにワイヤレス再生することができます。 インターネット上のコンテンツをご利用になる場合には、インターネットへ接続可能なアクセスポイントが必要です。
	YouTube	YouTubeの動画を再生したり、撮影した動画をYouTubeにアップロードすることができます。
	アプリケーションマネージャー	アプリケーションの実行状況を確認したり、停止したりすることができます。
	アラーム／時計	時刻や天気予報の表示、アラームの設定ができます。
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。（P65）

	カメラ	静止画（写真）および動画を撮影できます。（P67）
	カレンダー	カレンダーを表示したり、スケジュールを管理したりできます。
	ギャラリー	静止画（写真）および動画を閲覧できます。（P69）
	ダウンロード	ダウンロードしたデータを確認、表示、または再生できます。
	トーク	Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。（P66）
	ドコモマーケット	ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。
	ドコモ海外利用	海外でのパケット通信の利用や海外パケット定額サービスの設定・確認をサポートします。
	トルカ	店舗情報やクーポン券などのトルカを表示、検索、更新ができます。
	ナビ	目的地までの経路の案内を音声ガイダンスでできます。
	ニュースと天気	最新のニュースや現在地の天気予報などを表示できます。
	バックアップと復元	通話履歴、連絡先、カレンダー（スケジュール）などをmicroSD カードにバックアップできます。
	ビデオプレイヤー	microSDカードに保存されている動画を再生できます。（P70）
	ブラウザ	ウェブページが閲覧できます。（P65）
	プレイス	現在地の近くのレストランや、カフェ、居酒屋、観光スポット、ATM、ガソリンスタンドなどを簡単に探すことができます。
	ホームセレクタ	ダウンロードしたホームアプリケーションにホーム画面を切り替えできます。（P41）
	マーケット	Androidマーケットを利用して、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして、FOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。（P51）

	マガストア	オンラインの電子雑誌販売サイト「MAGASTORE」にアクセスして、雑誌データを購入することができます。
	マクドナルドLauncher	マクドナルドの会員向けクーポンや店舗検索機能が使えるアプリです。
	マップ	現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索ができます。
	ミュージック	microSDカードに保存されている音楽を再生できます。（P70）
	メール	パソコンと同様にメールの送受信ができます。（P63）
	メッセージ	SMSの送受信ができます。（P64）
	メロディコール	電話をかけてきた相手にお好みのメロディを聴かせるサービスです。メロディコールの楽曲試聴、購入、設定ができます。 メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。
	音声検索	音声で入力して検索できます。（P44）
	楽天オークション	楽天オークションに出品されている、人気のファッションアイテムなどが簡単に検索できます。
	検索	FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを対象として検索できます。（P43）
	取扱説明書	本FOMA端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。（表紙裏）
	書籍・コミックE★エブリスタ	プロ作家・有名人のオリジナル作品から一般ユーザーの人気投稿作品まで、話題の電子書籍・コミックが閲覧できます。 プロ作家・有名人の作品閲覧は有料です。
	声の宅配便	声の宅配便は、音声電話でメッセージを録音し、録音されたことを相手にSMSで通知するサービスです。 本アプリを利用することで、簡単に声のメッセージを録音、再生することができます。
	設定	各種設定を行うことができます。（P62）

	地図アプリ	ドコモ地図ナビが提供する地図・ナビ・乗換などの機能で、お出かけをサポートするアプリです。トライアル期間は無料で利用可能です。
	電子辞典	英和、和英、国語辞典で単語の意味を検索したり、検索結果を単語帳に登録したりできます。
	電卓	四則演算などができます。
	電話	通話をかけたり、受けたりできます。（P58）
	電話帳コピーツール	microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。
	電話帳バックアップ	電話帳データを電話帳バックアップセンターに自動で定期的にバックアップすることができ、FOMA端末の紛失時や誤って削除した際などにリストアできるサービスです。 ※ 電話帳バックアップの詳細については、「ご利用ガイドブック（spモード編）」をご覧ください。
	連絡先	連絡先（電話帳）を登録したり、登録した連絡先から簡単に電話やメールをしたりできます。（P61）

お知らせ

- このアプリケーション一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。
- ソフトウェア更新を行うと、アプリケーションの内容やアイコンの位置が変わることがあります。
- アプリケーションによっては、アイコンの下に名前が最後まで表示されない場合があります。

カテゴリーを管理する

アプリケーション画面でカテゴリーの管理を行って、アイコンを整理することができます

カテゴリーを追加する

1 ホーム画面で「アプリ」
2 ▶「カテゴリー管理」
3 「追加」
4 カテゴリー名を入力して「保存」

カテゴリー名を変更する

1 ホーム画面で「アプリ」
2 ▶「カテゴリー管理」
3 カテゴリーをタップする
4 カテゴリー名を入力して「保存」

カテゴリーを移動する

1 ホーム画面で「アプリ」
2 ▶「カテゴリー管理」
3 カテゴリーの をタッチしてドラッグする

カテゴリーを削除する

1 ホーム画面で「アプリ」
2 ▶「カテゴリー管理」
3 「削除」
4 削除するカテゴリーにチェックマークを付ける
5 「削除」▶「OK」

アプリケーションを管理する

アプリケーション画面でアプリケーションの管理を行うことができます。

アプリケーションを移動する

1 ホーム画面で「アプリ」
2 ▶「アプリ管理」
3 アプリケーションを1秒以上タッチする
4 そのままドラッグし、移動先で指を離す

アプリケーションを削除する

1 ホーム画面で「アプリ」
2 ▶「アプリ管理」
3 アプリケーションをタップする
4 「OK」

マーケット

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして、FOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。

Androidマーケットを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「マーケット」
2 「同意する」

文字入力

本FOMA端末では、タッチスクリーンに表示されるソフトウェアキーボードで文字を入力することができます。

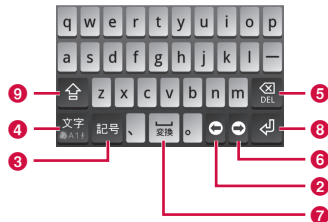
ソフトウェアキーボードでの文字入力

画面上のテキストボックスをタップすると、タッチスクリーンにソフトウェアキーボードが表示されます。
本FOMA端末の日本語入力では、テンキーとフルキーの2種類のソフトウェアキーボードを切り替えて使用できます。
キーアイコンをタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えができます。

■ テンキーソフトウェアキーボード

日本語を「かな入力」で入力する場合に使用します。

■ フルキーソフトウェアキーボード

日本語を「ローマ字入力」で入力する場合に使用します。

❶ **逆順／Undoキー**
1つ前の文字を表示（逆順）します。「Undo」と表示されているときは、1つ前の操作を取り消します。

❷ **左カーソルキー**
左へカーソルを移動します。1秒以上タッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を狭めます。

❸ **記号キー**
記号／顔文字リストを表示します。

❹ **文字種切替／設定キー**
入力（文字種）を切り替えます。1秒以上タッチすることで「iWnn IMEメニュー」を表示します。

❺ **削除キー**
カーソル位置の左の文字を削除します。1秒以上タッチすることで連続して削除できます。

❻ **右カーソルキー**
右へカーソルを移動します。1秒以上タッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を広げます。また、未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、予測変換の対象文字数を増やします。

❼ **スペース／変換キー**
スペースを入力します。変換時は連文節変換を行います。

❽ **実行キー／エンターキー**
入力文字／変換文字を確定します。すでに入力文字／変換文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能を実行します。

❾ **シフトキー**
大文字キーと小文字キーを切り替えます。

お知らせ

- ここではiWnn IME（日本語キーボード）のソフトウェアキーボードについて説明しています。キー表示は入力画面や文字種により変わります。
- ソフトウェアキーボードの種類を切り替える方法については、「キーボードを切り替える」（P53）をご参照ください。
- キーボードが不要な場合は、⮌ をタップすることで閉じることができます。再び表示するには、画面上のテキストボックスをタップしてください。

文字入力には8つのモードがあり、現在のモードはステータスバーのアイコンで確認できます。

あ	ひらがな漢字	AB	半角英字
カ	全角カタカナ	1	全角数字
ｶﾅ	半角カタカナ	12	半角数字
A	全角英字	🎤	音声入力

キーボードを切り替える

1 **ソフトウェアキーボードで 文字 を1秒以上タッチする**

2 **「テンキー⇔フルキー」**

文字種を切り替える

文字入力画面で 文字 をタップするたびに、「ひらがな漢字」▶「半角英字」▶「半角数字」の順に文字種が切り替わります。また、「キーボード設定（共通）」で「音声入力」にチェックマークを付けると、声で入力することもできます。
文字 を1秒以上タッチすると「iWnn IMEメニュー」が表示され、「入力モード切替」をタップすると入力モードを切り替えることができます。

記号／顔文字を入力する

文字入力画面で をタップすると、記号／顔文字入力モードになりディスプレイに記号または顔文字の候補が表示されます。
「記号」をタップすると記号、「顔文字」をタップすると顔文字の入力候補が表示されます。入力候補をタップすると、記号または顔文字が入力できます。
「戻る」をタップすると、記号または顔文字入力前のソフトウェアキーボードが表示されます。

文字入力の設定を変更する

文字入力画面で を1秒以上タッチすると「iWnn IMEメニュー」が表示されます。ここで「各種設定」をタップすると、文字入力に関する設定が変更できます。

ロック／セキュリティ

暗証番号とドコモUIMカードの保護について

本FOMA端末を便利で安全にお使いいただくため、本FOMA端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などが設定できます。用途に応じて上手に使い分けて、本FOMA端末をご活用ください。

お知らせ

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」など容易に推測できる番号は避けてください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類や本FOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID ／パスワード」をお持ちの方は、パソコンで新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

お知らせ

- 「My docomo」については、本書裏面の裏側をご覧ください。

PINコード

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、端末操作が可能となります。

お知らせ

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

ドコモUIMカードのPINを有効にする

1. ホーム画面で ▶「設定」▶「位置情報とセキュリティ」
2. 「UIMカードのロック設定」
3. 「UIMカードをロックする」
4. PINコードを入力して「OK」

PINコードを変更する

1. ホーム画面で ▶「設定」▶「位置情報とセキュリティ」
2. 「UIMカードのロック設定」
3. 「UIM PINを変更する」
4. すでに設定されているPINコードを入力して「OK」
5. 新たに設定するPINコードを入力して「OK」
6. 手順5で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」

PINコードを入力する

本FOMA端末の電源を入れたときにPINコードの入力が求められたら、以下のように操作します。

1 ドコモUIMカードのPINコードを入力して「OK」

ドコモUIMカードのPUKロックを解除する

ＰＩＮコードの入力を３回連続間違えてＰＩＮコードがロックされた場合は、以下のように操作します。

1 PINロック解除コード入力（PUK）画面でPINロック解除コードを入力して「OK」

2 新たに設定するPINコードを入力して「OK」

3 手順２で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」

電話

電話

電話をかける

本FOMA端末では、一般的な通話のほか国際電話、緊急電話をかけることもできます。

電話をかける

1 ホーム画面で「電話」

- 「電話」タブが表示されます。

2 電話番号を入力 ▶ [発信]

- 電話番号の入力を誤った場合は、[削除] をタップすることで消去できます。

通話を終了する

1 通話中に「終了」

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面およびPINロック解除コード入力画面からは緊急通報110番／119番／118番に発信できません。PINコードについて詳しくは「暗証番号とドコモUIMカードの保護について」（P54）をご参照ください。

電話を受ける

着信すると着信音が鳴ります。マナーモードでは着信音が鳴りません。バイブレータを設定していれば、バイブレータが動作します。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら を右にドラッグ

着信を拒否する

1 電話がかかってきたら を左にドラッグ

着信音を消音にする

1 着信中に音量キー（上）／音量キー（下）を押す

- 着信音が聞こえなくなります。

通話中の操作

通話中には利用状況に応じて音量を調整したり、スピーカーやマイクのオン／オフ、保留などの操作ができます。

操作	結果
音量キー（上）	通話音量が上がります。
音量キー（下）	通話音量が下がります。
通話中に「スピーカー」	スピーカーがオンになります。
スピーカーがオンの状態で「スピーカー」	スピーカーがオフになります。
通話中に「ミュート」	マイクがオフになります。
マイクがオフになっている状態で「ミュート」	マイクがオンになります。
通話中に「保留」	通話が保留されます。
保留になっている状態で「保留解除」	保留が解除されます。

通話履歴

着信や発信の履歴は自動的に記録されます。また、この履歴を利用して電話をかけたり、連絡先に電話番号を登録することもできます。

不在着信の相手に電話をかける

不在時に着信があった場合は、ステータスバーから不在着信の通知を確認できます。

1 ステータスバーに が表示されている状態でステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする
2 不在着信の通知をタップする
3 不在着信の履歴の右にある をタップする

通話履歴を利用して電話をかける

通話履歴に記録された電話番号に電話がかけられます。

1 ホーム画面で「電話」▶「通話履歴」タブ
2 相手の名前または電話番号の右にある を タップする

通話履歴の電話番号を連絡先に登録する

通話履歴の中で、連絡先として登録されていないものを登録できます。

1 「通話履歴」タブで電話番号を 1 秒以上タッチする
2 「連絡先に追加」
3 「連絡先を新規登録」
4 情報を入力して「保存」

通話履歴を消去する

通話履歴は自動的に追加されますが、任意の履歴またはすべての履歴を消去できます。

任意の通話履歴を消去する

1. 「通話履歴」タブで電話番号を1秒以上タッチする
2. 「通話履歴から消去」

すべての通話履歴を消去する

1. 「通話履歴」タブで ▶「通話履歴を全件消去」▶「OK」

連絡先

連絡先には、電話番号、Eメールアドレス、インターネット上の各種サービスのアカウントなど連絡先に関わる情報が入力できます。

連絡先を表示する

連絡先に登録されている情報が表示できます。

1. ホーム画面で「連絡先」▶「連絡先」タブ

連絡先を登録する

新たに連絡先を登録できます。

1. ホーム画面で「連絡先」▶「連絡先」タブまたは「お気に入り」タブで ▶「連絡先を新規登録」
   - 「アカウントに連絡先を作成」画面でアカウントを選択します。
2. 情報を入力して「保存」

連絡先を削除する

1. 「連絡先」タブでいずれかの連絡先をタップする
2. ▶「連絡先を削除」
3. 「OK」

各種設定

設定メニュー

本FOMA端末では、ホーム画面で ▶「設定」をタップすると、さまざまな設定を行う「設定」画面が表示されます。ここで表示されるメニューは以下の通りです。

無線とネットワーク	各種ネットワークに関する設定を行います。
通話設定	各種通話に関する設定を行います。
音	音量などの設定を行います。
表示	画面の明るさやアニメーションなど表示に関する設定を行います。
ジェスチャー	モーションジェスチャーに関する設定を行います。
位置情報とセキュリティ	GPSや画面ロック、パスワードの設定などを行います。
アプリケーション	アプリケーションに関する設定を行います。
アカウントと同期	アカウントおよび同期に関する設定を行います。
プライバシー	FOMA端末内のすべてのデータを消去します。
ストレージ	microSDカードの空き容量表示、マウント、フォーマット、内部ストレージの空き容量表示などを行います。
言語とキーボード	本FOMA端末の使用言語やキーボードの設定を行います。
音声入出力	音声認識装置の設定やテキストの読み上げに関する設定を行います。
ユーザー補助	ユーザー補助に関するアプリケーションの設定などを行います。
日付と時刻	日付や時刻に関する設定を行います。
端末情報	本FOMA端末に関する各種情報を表示します。

メール／インターネット

メール

パソコンと同様にメールを送受信できます。一般的なメールのほかMicrosoft Exchange Serverを使用したメールの送受信も行うことができます。

メールを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メール」

メールアカウントを設定する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メール」
2 「メールアカウントの設定」画面でメールアドレスとパスワードを入力する
3 「手動セットアップ」または「次へ」
- 以降は画面に従って設定してください。設定情報などにつきましては、サーバー管理者にお問い合わせください。

受信したメールを表示する

1 「受信トレイ」画面でいずれかのメールをタップする

メールを作成して送信する

1 「受信トレイ」画面で ▶「作成」
2 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する
3 「件名」ボックスに件名を入力する
4 「メッセージを作成」ボックスにメッセージを入力する
5 「送信」

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。
spモードメールの詳細については、「ご利用ガイドブック（spモード編）」をご覧ください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「spモードメール」
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

Gmail

Googleアカウントをお持ちの場合は、Gmailを利用してメールを送受信できます。Googleアカウントをお持ちでない場合は、アカウントを取得することで使用できます。

Gmailを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Gmail」

SMS

他の端末へ全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）までのテキストメッセージが送受信できます。

メッセージ（SMS）を送信する

1 ホーム画面で「メッセージ」

2 「新規作成」

3 「To」ボックスをタップ ▶ 送信相手の電話番号を入力する

4 「メッセージを入力」ボックスをタップ ▶ メッセージを入力する

5 「送信」

お知らせ

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

メッセージ（SMS）を受信する／読む

1 ホーム画面で「メッセージ」

2 いずれかのスレッドをタップする

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報を受信することができます。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 電源が入っていないときや圏外時など、本端末の状態によっては、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。

エリアメールを受信する

1 エリアメールを自動的に受信する

- エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴り、エリアメールの本文が表示されます。
- キーロックされている場合、エリアメールの本文は表示されません。キーロックを解除すると表示されます。
- 着信音量を変更することはできません。

受信したエリアメールをあとで表示する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「エリアメール」

2 いずれかのエリアメールをタップする

エリアメールを設定する

エリアメールを受信するかどうかや、着信時の動作などを設定できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「エリアメール」

2 ▶「設定」

3 必要に応じて設定を変更する

ブラウザ

ブラウザを利用することで、パソコンと同じようにウェブページが閲覧できます。

ブラウザを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ブラウザ」

ウェブページを表示する

URLを入力してウェブページを表示する

1 ブラウザ画面の検索ボックスをタップする

2 ウェブページのURLを入力する

3 リストのいずれかをタップするか、URLを最後まで入力して →

- 指定したURLのウェブページが表示されます。

ウェブページの表示を拡大／縮小する

1 ブラウザ画面をドラッグまたはスワイプする

2 (−) または (+) をタップする

特定の箇所を拡大／縮小する

1 ウェブページをピンチアウトする

- 操作を開始した位置を中心に拡大表示されます。

2 ウェブページをピンチインする

- 縮小表示されます。

トーク

Googleトークは Googleのインスタントメッセージプログラムです。Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。Googleトークを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。詳しくは「オンラインサービスアカウントを設定する」（P37）をご参照ください。

Googleトーク利用の準備

Googleトークを利用するには、ログインとメンバーの追加が必要です。ただし、すでにGoogleアカウントを設定している場合は、サインインなしでご利用になれます。

Googleトークにログインする

1 ホーム画面で「アプリ」▶「トーク」

- 設定しているGoogleアカウントが表示されます。

マルチメディア

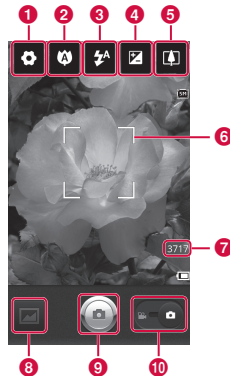
カメラ

本FOMA端末には、カメラが内蔵されており、静止画（写真）や動画が撮影できます。

静止画を撮影する

静止画は、縦向きと横向きとのどちらでも撮影できます。

撮影画面の見かた

静止画撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

❶ **設定（静止画撮影時）**
撮影サイズ／撮影シーン／ISO／ホワイトバランス／色調調整／セルフタイマー／撮影モード／画質／オートプレビュー／シャッター音／位置情報の記録の設定を行います（横向き画面で表示）。

❷ **フォーカス**
指定した位置にフォーカス（オート／マクロ／自動追従AF／顔追従／マニュアル）を合わせます。

❸ **フラッシュ**
フラッシュ（オート／赤目軽減／ON ／ OFF）を設定します。

❹ **ブライトネス**
輝度を調整します。

❺ **ズーム**
ズームを調整します。

❻ **オートフォーカス枠**
オートフォーカスに成功した場合は緑色で表示されます。失敗した場合は赤色で表示されます。

❼ **撮影可能枚数**

❽ **サムネイル**
タップするとプレビュー画面が表示され、撮影した静止画の確認ができます。また、静止画を編集することもできます。

❾ **シャッター**

❿ **静止画／動画撮影モードの切り替えボタン**
静止画撮影モードまたは動画撮影モードに切り替えます。

静止画を撮影する

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「カメラ」**

- 画面にはメニューが表示され、撮影するシーンや状況に応じて、さまざまな設定ができます。

2 **カメラを被写体に向ける**

3

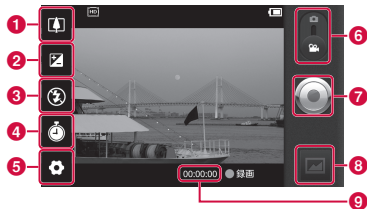
- シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

動画を撮影する

モードを切り替えることで動画撮影もできます。

撮影画面の見かた

動画撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

❶ **ズーム**
ズームを調整します。

❷ **ブライトネス**
輝度を調節します。

❸ **フラッシュ**
フラッシュのON ／ OFFを設定します。

❹ **録画時間**
録画時間（標準／メール添付用）を設定します。「メール添付用」を選択すると、メール添付に適するよう録画時間の制限があります。

❺ **設定（動画撮影時）**
ビデオサイズ／ホワイトバランス／色調調整／画質／録音設定／オートレビューの設定を行います。

❻ **静止画／動画撮影モードの切り替えボタン**
静止画撮影モードまたは動画撮影モードに切り替えます。

❼ **録画ボタン**

❽ **サムネイル**
タップするとプレビュー画面が表示され、撮影した動画の確認ができます。

❾ **撮影時間**

動画を撮影する

1 静止画撮影画面で を右から左へドラッグする

- 動画撮影画面に切り替わります。
  画面にはメニューが表示され、撮影するシーンや状況に応じて、さまざまな設定ができます。

2 カメラを被写体に向ける

3

- 録画開始音が鳴り、撮影が始まります。

4

- 録画停止音が鳴り、録画が停止します。

ギャラリー

ギャラリーでは、静止画をスライドショーで表示したり、編集したりできます。

静止画や動画を見る

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ギャラリー」

2 フォルダーをタップする

- 撮影された静止画や動画がサムネイルで表示されます。
- をタップすると、静止画や動画が撮影期間別に分けられます。
- 本FOMA端末のカメラで撮影した静止画や動画を見る場合は、「100ANDRO」をタップします。

3 いずれかのサムネイルをタップする

- 静止画の場合、 をタップするか、タッチスクリーンをピンチアウト／ピンチインすることで画像を拡大／縮小することができます。
- 動画の場合、動画が再生されます。

ミュージック／ビデオプレイヤー

ミュージックやビデオプレイヤーを使用して、本FOMA端末に保存した音楽や動画を再生できます。操作方法などについて、詳しくはFOMA端末内の「取扱説明書」閲覧ソフト（eトリセツ）をご参照ください。

ミュージックを利用する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ミュージック」

2 再生する曲を検索する

3 曲名をタップする

ビデオプレイヤーを利用する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ビデオプレイヤー」

2 いずれかの動画をタップする

ファイル管理

ファイル操作について

FOMA端末とパソコンをUSB接続ケーブル L01で接続して、パソコンの「Windows Media Player」と音楽などのデータを同期したり、ドラッグ＆ドロップでパソコンとFOMA端末でデータのやりとりしたりできます。一部の著作権で保護されたデータのやりとりは許可されない場合があります。

- 本FOMA端末をパソコンに認識させるには、専用のドライバおよびWindows Media Player 11以上が必要です。
  - 専用ドライバのダウンロードや操作方法、その他詳細については、下記のホームページを参照してください。
    http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp
  - 最新版のWindows Media Playerは、Microsoftのウェブサイトからダウンロードできます。
    http://www.microsoft.com/windows/windowsmedia/download
- FOMA端末とパソコンを接続中に、動画の撮影や再生など一部の機能が使用できない場合があります。

お知らせ

- ファイル操作に必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。
  - OS※：Windows 7 ／ Windows Vista ／ Windows XP（Service Pack 3以降）
  - Windows Media Player：Windows Media Player 11以上

  ※ OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- パソコンでFOMA端末内のファイルを操作するには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器、およびソフトウェアが必要です。
  - USB接続ケーブル L01
  - 専用のドライバ

  USBケーブルは、専用のUSB接続ケーブル L01をご使用ください。パソコンのUSBケーブルはコネクタ部分の形状が異なるため使用できません。

FOMA端末内のフォルダーについて

FOMA端末とパソコンを接続すると、FOMA端末内のmicroSDカードが「リムーバブル ディスク」という名前で認識されます。
FOMA端末のカメラで撮影した静止画や動画を保存したときや、インターネットから画像、音楽などのデータをダウンロードしたときなど、そのファイルに対応したフォルダーがFOMA端末内のmicroSDカードに自動的に作成されます。

- FOMA端末とパソコンの接続方法について、詳しくは「FOMA端末とパソコンを接続する」（P73）をご参照ください。

お知らせ

- パソコンのWindows Media Playerと同期した音楽データは「Music」フォルダーに保存されます。
- パソコンなど他の機器からFOMA端末内のmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からパソコンに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。

Bluetooth通信

本FOMA端末とBluetoothデバイスをワイヤレスで接続し、データをやりとりできます。

Bluetooth機能をONにしてFOMA端末を検出可能にする

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」

2 「Bluetooth設定」にチェックマークを付ける

3 「機器名」をタップして端末名を入力 ▶「OK」

4 「検出可能」にチェックマークを付ける

- FOMA端末が別のBluetoothデバイスから約120秒間検出可能になります。

お知らせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。

他のBluetoothデバイスとペアリング／接続する

Bluetooth通信を行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（ペア設定）を行い、本FOMA端末に登録後、接続を行います。

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」▶「Bluetooth機器のスキャン」

- 検出されたBluetoothデバイスの一覧画面が表示されます。

2 接続したいデバイスをタップする

- Bluetoothデバイスにパスキー（PIN）が設定されている場合、パスキー（PIN）を入力して「OK」をタップしてください。
- Bluetoothデバイスによっては、デバイスをタップするとペアリング完了後、続けて接続まで行う場合があります。

お知らせ

- ペアリング時にパスキー（PIN）が必要なデバイスの場合も一度ペアリングを行うと、次回の接続時にはパスキー（PIN）の入力は不要になります。
- プロファイル非対応の場合など、接続できないデバイスの場合はペアリング設定は可能ですが、デバイスをタップしても接続できません。

他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

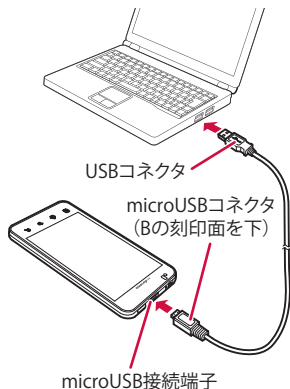
Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合、「ペアリング」をタップするか、必要な場合は、パスキー（PIN）を入力して「OK」をタップしてください。

外部機器接続

FOMA端末とパソコンを接続する

ご使用のパソコンに専用のドライバやWindows Media Player 11以上が入っていることを確認してください。専用のドライバやWindows Media Player 11以上が入っていないと、FOMA端末がパソコンに正常に認識されない可能性があります。動作環境について、詳しくは「ファイル操作について」（P70）をご参照ください。

1 付属のUSB接続ケーブル L01のmicroUSBコネクタをFOMA端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- microUSBコネクタは、Bの刻印がある面を下にして水平に差し込んでください。

2 **USB接続ケーブル L01のUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む**

- FOMA端末がパソコン側に自動で認識されます。
- ステータスバーに が表示されます。
- パソコン側でデバイスドライバのインストールを要求される場合がありますが、キャンセルしてください。

3 **ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして、「USB接続」をタップする**

4 **「USBストレージをONにする」▶「OK」**

5 **パソコン側で「マイ コンピュータ」を開き、「リムーバブル ディスク」を選択する**

- FOMA端末内のフォルダー一覧が表示されます。
- 設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「デバイスを開いてファイルを表示する」を選択してください。

お知らせ

- データの読み込みや書き込み中に、FOMA端末の電源を切らないでください
- データの読み込みや書き込み中、USB接続ケーブル L01を抜かないでください。データ消失などの原因となります。
- Windows Media Playerについて、詳しくはWindows Media Playerのヘルプをご参照ください。

付録／索引

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- リアカバー L24
- 電池パック L14
- USB接続ケーブル L01
- ACアダプタ L02
- FOMA充電microUSB変換アダプタ L01
- FOMA ACアダプタ 01※1※2／02※1※2
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1※2
- FOMA DCアダプタ 01※1／02※1
- FOMA 乾電池アダプタ 01※1
- FOMA 補助充電アダプタ 02※1
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 骨伝導レシーバマイク 02
- 車載ハンズフリーキット 01
- 車内ホルダ 01
- キャリングケース 02

※1 L-07Cに接続するには、FOMA充電microUSB変換アダプタ L01が必要です。
※2 ACアダプタの充電方法について→P30

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。（ソフトウェア更新→P82）
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

カテゴリ	症　状	チェック
電源	FOMA端末の電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P28 • 電池切れになっていませんか。→P30
充電	充電ができない ハードウェアキーが点滅しない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P28 • アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタとFOMA端末が正しくセットされていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して電池の状態アイコンが充電中にならない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
	画面に「充電してください」と表示される	• 電池残量が少ない場合は充電してください。→P30

カテゴリ	症　状	チェック
端末操作	操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながら動画撮影などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
	電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

カテゴリ	症　状	チェック
端末操作	電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
	キーを押しても動作しない	• 画面ロックを設定していませんか。→P62
	ドコモUIMカードが認識しない	• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P26
	時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 「設定」の「日付と時刻」で「自動」にチェックマークが付いているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

カテゴリ	症　状	チェック
端末操作	端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 • セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から電源ボタンを押し、2回目のLGロゴ画面が表示されたら、Gキーを3秒以上押し続けてください。 ※ セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。

カテゴリ	症　状	チェック
端末操作	端末動作が不安定	• 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
通話	をタップしても発信できない	• 「UIMカードのロック」を設定していませんか。→P56 • フライトモードを設定していませんか。→P62

カテゴリ	症　状	チェック
通話	通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを入れ直してください。 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状況を示す電波レベルが4本表示している 」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説　明
通信サービスなし	• サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。 • ドコモUIMカードが正しく機能していません。ドコモUIMカードを抜き差ししても改善しない場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
UIM PUKロックされています	PINコード（P55）を正しく入力してください。
SIMカードはPUKでロックされています	PUK（PINロック解除コード）（P56）を正しく入力してください。
メモリ不足です	空き容量がありません。不要なアプリケーションを削除（P51）して容量を確保してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳（連絡先）などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳（連絡先）などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本FOMA端末は、電話帳（連絡先）のデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶･コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、マイク部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

L-07Cのソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。
ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。

自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。

即時更新：更新したいときにすぐ更新を行います。

予約更新：アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新は、L-07Cに登録された連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のL-07Cの状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。万が一のトラブルに備え、必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電にしておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中・圏外にいるとき
  - 国際ローミング中
  - フライトモード中
  - Wi-Fiネットワークとの接続中
  - OSバージョンアップ中
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要な空き容量が十分でないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、電波レベルが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは圏外にいるときには、「ローミング中もしくは圏外時は更新ができません。」と表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、「充電不足のため更新ができません。フル充電してから再度更新を実行してください。」と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のL-07C固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、［書換え失敗しました］と表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェア更新を自動で行う <自動更新>

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新を行う」に設定されています。
書換え可能な状態になると通知アイコン（ソフトウェア更新有）が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えするかを選択できます。
通知アイコン（ソフトウェア更新有）が表示された状態で書換え時刻になると、自動で書換えが行われ、通知アイコン（ソフトウェア更新有）は消去されます。
書換え時刻になったとき、電池残量が不足していた場合や、通話中の場合はソフトウェア更新を開始せず、翌日の同時刻に再度ソフトウェア更新を行います。
自動更新設定が「自動で更新を行わない」になっている場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

自動更新の設定

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「ソフトウェア更新設定の変更」

2 ソフトウェア更新通知があったときの動作を選ぶ

- 自動でソフトウェア更新をするとき：「自動で更新を行う。」
- 自動でソフトウェア更新をしないとき：「自動で更新を行わない。」

更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、ホーム画面に通知アイコン（ソフトウェア更新有）が表示されます。

1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルが表示されます。

2 「ソフトウェア更新有」をタップする

3 書換え方法を選ぶ

- ソフトウェア更新が必要なときは、書換え時刻が表示されます。

■「OK」
- ホーム画面に戻ります。設定時刻になると書換えを開始します。

■「開始時刻変更」▶「時刻を予約してソフトウェアを更新する」（P87）の操作1へ
- アップデートパッケージのインストールを実行する時刻を設定します。

■「今すぐ開始」▶「すぐにソフトウェアを更新する」（P86）の操作1へ
- 書換えを開始します。
- 書換えが完了すると通知アイコン ✓（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。通知アイコンは、一度確認すると消去されます。

お知らせ

- 自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、ホーム画面に通知アイコン（ソフトウェア更新有）が表示されます。

ソフトウェア更新を起動する＜即時更新＞

1 ホーム画面で ▶「設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「更新を開始する」▶「はい」

- ダウンロードを開始すると、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください。」と表示されます。

2 表示される画面の指示に従って操作を進める

- 再起動後更新を開始します。
- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 更新中に2回自動的に再起動します。

3 ホーム画面が表示される

- 通知アイコン ✓（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。通知アイコンは、一度確認すると消去されます。

すぐにソフトウェアを更新する

1 「今すぐ開始」

2 「書換え処理を開始します」と表示される ▶「OK」

- 「書換え処理を開始します」の表示が約３秒経過すると、自動的に書換えを開始します。
- 書換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止することもできません。
- 書換えが終了すると、自動的に再起動します。

3 再起動後、自動的にソフトウェア更新が開始される

- 更新中は、すべてのボタン操作が無効になります。更新を中止することもできません。
- 更新を終了すると、約５秒後に自動的に再起動します。

4 ホーム画面が表示される

- ソフトウェア更新を終了すると、ホーム画面が表示されます。
- ホーム画面に更新が完了したことを表す通知アイコン ✔（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。通知アイコンは、一度確認すると消去されます。

ソフトウェア更新終了後の表示について

ステータスバーに ✔ が表示されます。ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプすると、通知パネルが表示されます。「ソフトウェア更新が完了しました。」をタップすると、ソフトウェア更新が完了したことを示すメッセージが表示されます。

時刻を予約してソフトウェアを更新する

アップデートパッケージのインストールを別の時間に予約をしたい場合は、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 「開始時刻変更」

- 書換え開始時刻設定画面が表示されます。
- 時刻は、L-07Cの時刻に合わせて表示されます。

2 希望の時刻を入力 ▶「OK」

- 「+」／「−」をタップして更新時刻を変更します。

予約した時刻になると

1 「書換え処理を開始します」と表示される ▶「OK」

- 「書換え処理を開始します」の表示後約3秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新の予約した時刻には、電波の十分届くところでホーム画面を表示させておいてください。
- 予約した時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、翌日の同時刻にソフトウェア更新を行います。
- 予約した時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合は、ソフトウェア更新が優先されます。
- 予約した時刻にOSバージョンアップ中の場合、ソフトウェアは更新されません。
- ソフトウェア更新の予約時刻になったときL-07Cの電源を切った状態の場合は、電源を入れたあと、予約時刻と同時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

携帯電話機の比吸収率など

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種L-07Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W／kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.517W／kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
LG Electronicsホームページ（本FOMA端末の「仕様」のページをご確認ください）
http://www.lg.com/jp/mobile-phones/all-phones/index.jsp
（URLは予告なく変更される場合があります。）

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成23年5月現在）

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver.
Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined

at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.72W/kg, and when worn on the body, is 0.60W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID BEJL07C.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Declaration of Conformity

The product "L-07C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.606W/kg at the ear, and 0.602W/kg when worn on the body.
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement

CE0168ⓘ

Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

Wi-Fi (WLAN)	This device is intended for sale in Japan only. It can be operated in all European countries. The WLAN can be operated in the EU without restriction indoors, but cannot be operated outdoors in France, Russia and Ukraine.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

NOTE: Excessive sound pressure from earphones can cause hearing loss.

For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「spモード」「spモードメール」「エリアメール」「WORLD WING」「公共モード」「デコメール®」「メロディコール」「mopera」「mopera U」「ｉチャネル」「eトリセツ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- LG On-Screen PhoneはLG Electronics Inc.の日本における登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- GoogleおよびGoogle ロゴ、Android、Androidマーケットおよび Androidマーケット ロゴ、Googleマップ、Googleトーク、Googleカレンダー、GmailおよびGmail ロゴ、YouTubeおよびYouTube ロゴは、Google, Inc.の商標または登録商標です。

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player 、Adobe® Flash® Lite® テクノロジーを搭載しています。

  - Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  - Adobe Flash Lite Copyright© 2003-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  - Adobe、FlashおよびFlash Liteは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。

  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.

索引

ア

カ

サ

タ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo (http://www.mydocomo.com/) ▶ 各種お申込・お手続き

※ ご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ **満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合**

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ **運転中の場合**

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※ ただし、傷病者の救護または公共の安全維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ **レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。**

■ **街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。**

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ **マナーモード**

ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します。

※ ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。
不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの)**151**(無料)
※一般電話などからはご利用になれません。
受付時間　午前9:00～午後8:00(年中無休)

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの)**113**(無料)
※一般電話などからはご利用になれません。
受付時間　24時間(年中無休)

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***(無料)
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※L-07Cからご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります(「+」は「0/+」を1秒以上タッチします)。

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***(無料)
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※L-07Cからご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります(「+」は「0/+」を1秒以上タッチします)。

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Inc.

Li ion00
環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

大豆油インキを使用しています。

再生紙を使用しています　Printed in Korea(H)

'11.05 (1.1版)
MFL67216901